

令和4年6月29日（水）19時00分 札幌管区気象台

北海道地方では、日本海側や太平洋側西部を中心に28日からの雨により地盤の緩んでいる地域や増水している河川があります。

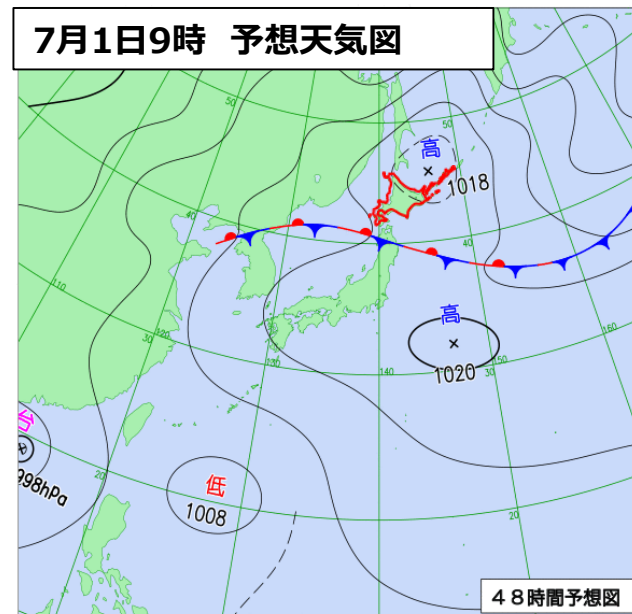
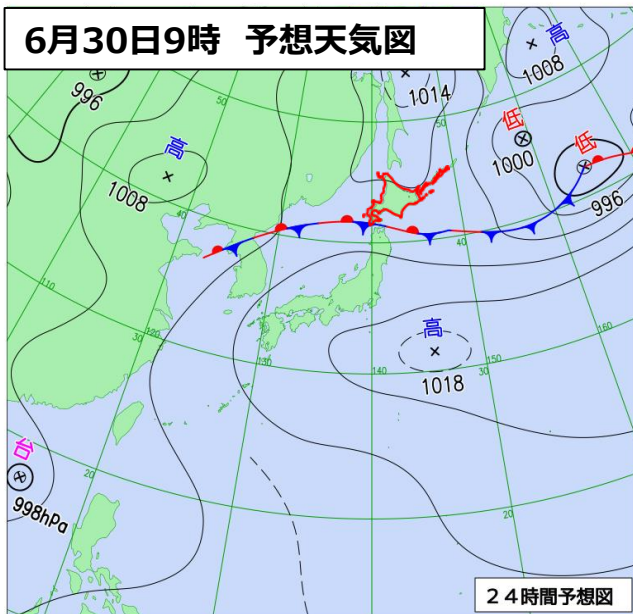
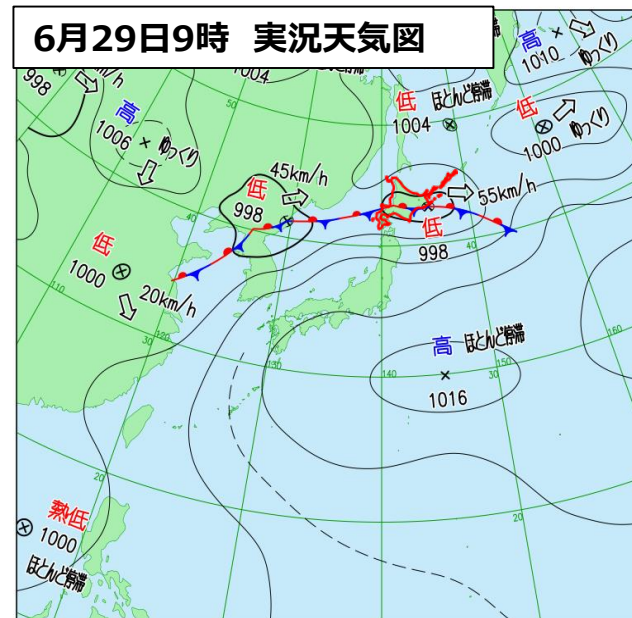
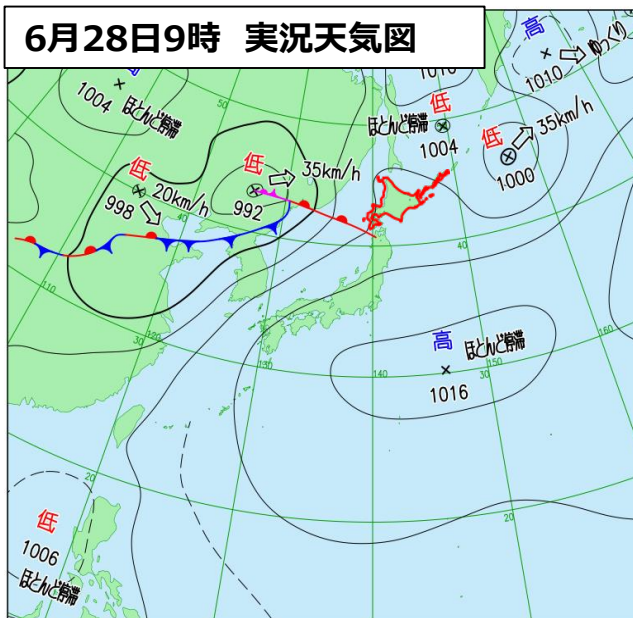
30日にかけて前線が停滞し、前線上の低気圧が30日朝にかけて北海道付近を通過する見込みです。

日本海側南部と太平洋側西部では、30日明け方にかけて激しい雨の降る所があるでしょう。大雨による土砂災害、河川の増水や氾濫に警戒してください。また、日本海側南部では、29日夜遅くにかけて低い土地の浸水に警戒してください。

低気圧や前線の動向によっては、警報級の大雨となる地域が拡大するおそれがあります。

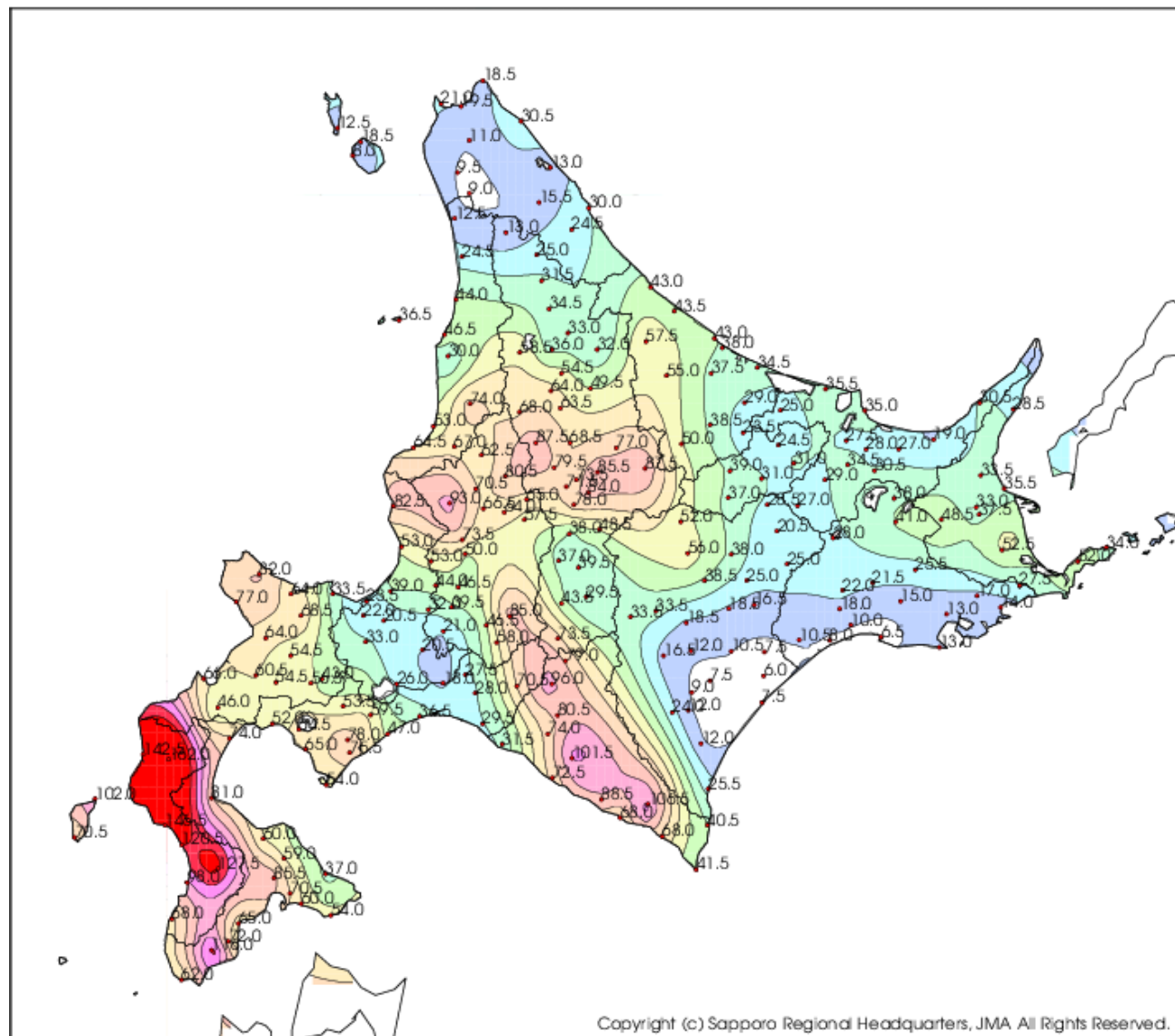
※今後、各地の気象台や測候所が発表する最新の防災気象情報に留意してください。
次の北海道地方気象情報は30日5時頃に発表する予定です。

■ 実況・予想天気図



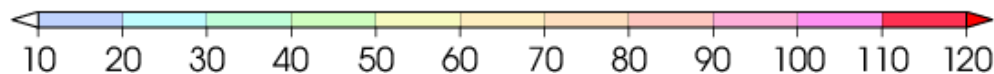
■アメダスによる降水量（28日5時～29日17時）

降水量合計 (mm) 2022/06/28 05:00 - 2022/06/29 17:00

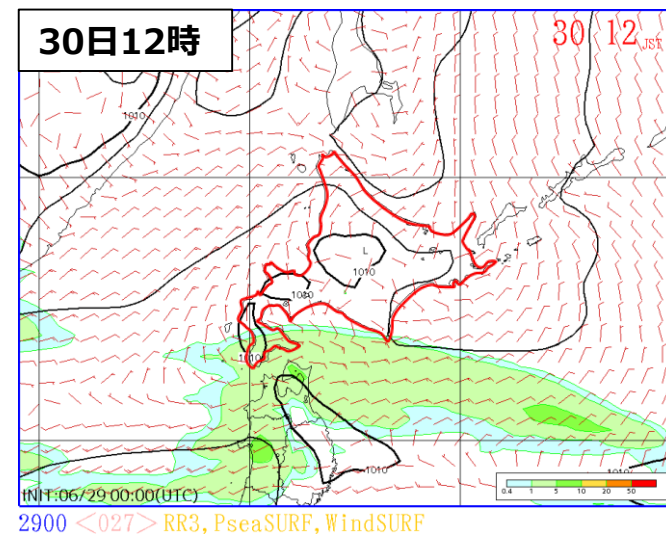
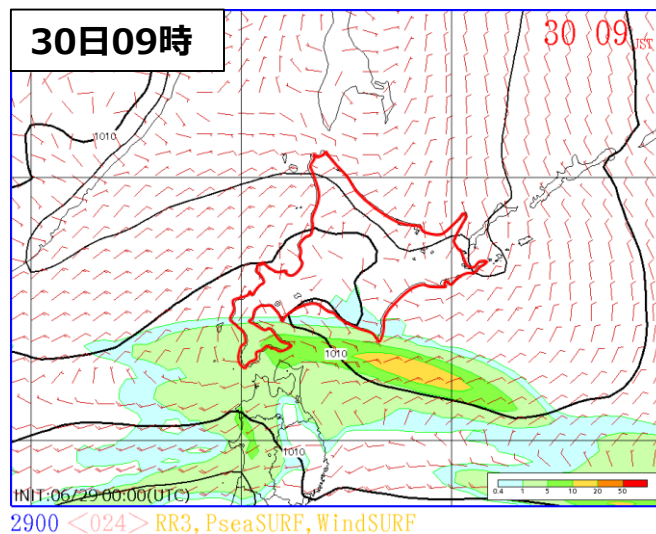
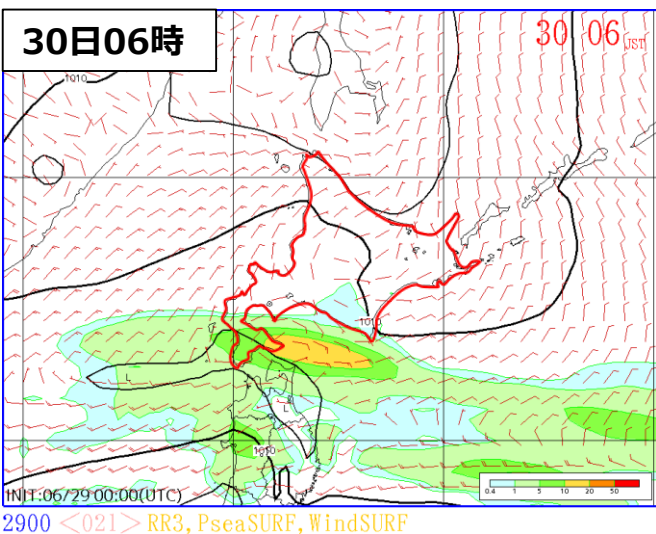
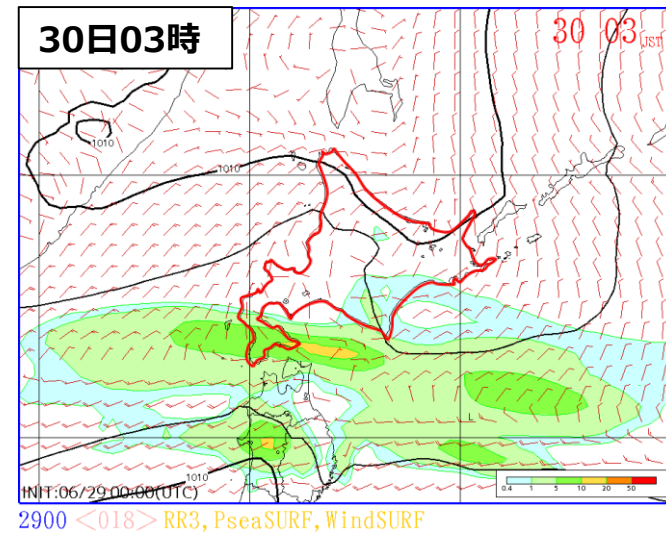
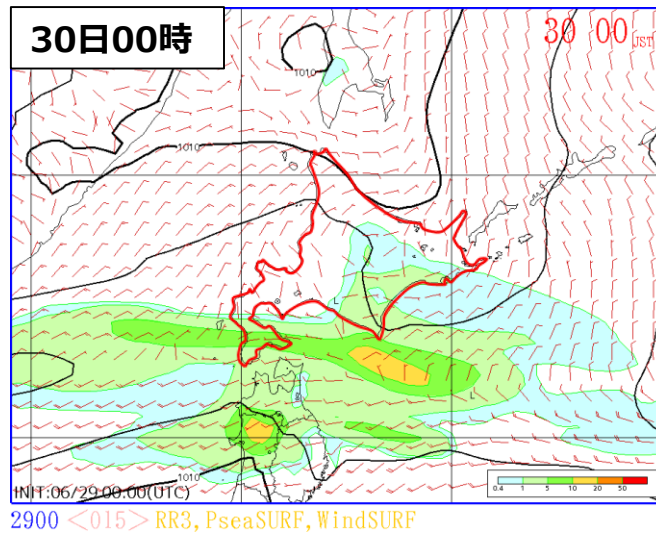
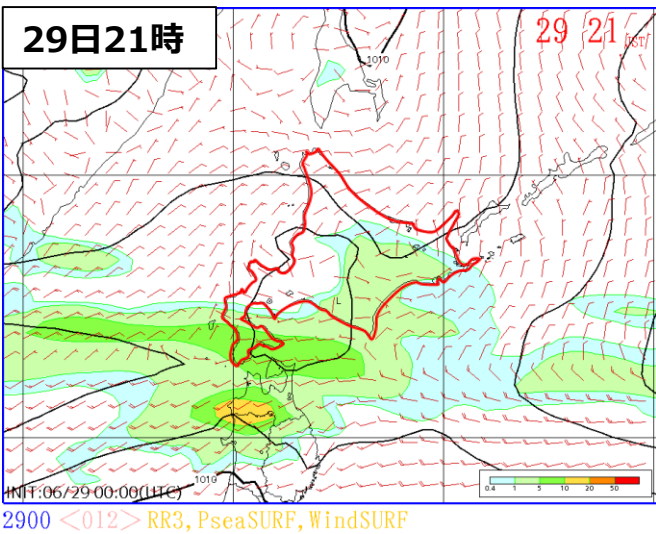


1. 今金 162.0
2. 熊石 146.5
3. せたな 142.5
4. 鶯 127.5
5. 潮見 120.5
6. 千軒 116.0
7. 中札臼 106.5
8. 奥尻 102.0
9. 笹山 101.5
10. 江差 98.0

Copyright (c) Sapporo Regional Headquarters, JMA. All Rights Reserved.



■ 数値予報による予想図 (地上気圧、降水)



このスライドの図は数値予報の結果です。
低気圧の動向や降水分布を概観するための参考資料としてください。